

M-AUDIO® HAMMER88 PRO

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプターのアース線を接地してご使用ください。

製品保証規定

1. 製品の保証期間はご購入日より一年間です。
2. ご購入時の納品書・領収書がご購入証明になります。紛失しないように大切に保管してください。
3. 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。
4. 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品の交換。
 - (ホ) 購入証明のご提示がない場合。
 - (ヘ) 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。
7. オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。
8. 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

クイックスタートガイド

はじめに

同梱物

Hammer 88 Pro 本体

USB ケーブル

譜面台

ソフトウェア・ダウンロードカード

クイックスタートガイド/保証書(本書)

サポート

製品の最新情報（ドキュメント、技術仕様、システム要件、互換性情報など）や製品登録に關しては m-audio.jp をご確認ください。

製品のサポートは <http://m-audio.jp/support/> をご確認ください。

セットアップ

Hammer 88 Proとコンピュータの接続

付属のUSBケーブルのUSB(B)端子をキーボードへ、USB(A)端子をコンピュータ（もしくはコンピュータに接続されたUSBポート）に接続します。

注：1本のUSBケーブルで、コンピュータとMIDIデータの送受信だけでなく、キーボードへの電源供給も行います。Hammer 88 Pro以外のデバイスも接続されているUSBポートを使用する場合は、ACアダプタで動作するパワードUSBポートをご使用ください。

お使いのDAWソフトウェアで Hammer 88 Proを使用するには、ソフトウェアのPreferences（初期設定）、オプション、デバイス設定などで、MIDIコントローラとして設定する必要があります。

Hammer 88 Proを付属DAWソフトウェアのMPC Beats、Ableton Live Liteでご使用になるには、次項の、**付属ソフトウェアのインストール**にて詳細をご確認ください。その他のDAWソフトウェアでのご使用に関しましては、DAWソフトウェアの説明書をご参照ください。

Hammer 88 Proを外部のハードシンセと接続して使用する際は、**MIDI Out**ポートと外部のハードシンセを標準5ピンMIDIケーブルで接続します。次に、Hammer 88 Proが選択したカスタムプリセットで動作するように設定されている事と（詳しくは、**オペレーションモードの設定**の項目をご参照ください）グローバルセッティングで、5ピンMIDI出力ポートからMIDIデータを送信するように設定されている事を確認します。外部のハードシンセと接続して使用する際には、コンピュータからラップトップ、もしくはパワードUSBポートとの接続が必要です。

付属ソフトウェアのインストール

付属の **MPC Beats**、**Ableton Live Lite** のソフトウェアにより、すぐに音楽を作成できます。さらに、DAW で使用できる拡張パックと AIR パーチャル・インストゥルメント・プラグインのセットも含まれております。

MPC Beats、**Ableton Live Lite** ソフトウェアをダウンロードするには、m-audio.com にてアカウントを作成し、製品登録を行ってください。**Ableton Live Lite** を使用する場合は、ableton.com にてアカウントを作成し、ソフトウェアのダウンロード・認証を行ってください。Hammer 88 Pro で DAW を設定する方法については、[MPC Beats のセットアップ](#)もしくは [Ableton Live Lite のセットアップ](#)の項目をご参照ください。

付属の AIR パーチャル・インストゥルメント・プラグインをダウンロードするには、同梱のソフトウェア・ダウンロードカードの指示に従ってください。インストール完了後、パーチャル・インストゥルメント・プラグインは DAW 上で自動的にロードされない場合がありますので、ソフトウェアでプラグインがインストールされたフォルダーを指定する必要があります。

MPC Beats と **Ableton Live Lite** で選択するプラグインフォルダーはご使用の OS により異なります。以下をご参照ください。

Ableton/VSTプラグインの場合：

- **Windows (32-bit):** C:\Program Files (x86)\VSTplugins
- **Windows (64-bit):** C:\Program Files\VSTplugins
- **MacOS:** Macintosh HD/Library/Audio/PlugIns/VST

Ableton Live Lite でプラグインフォルダーを設定する場合：

1. **Preferences (設定)** メニューを開きます。
2. **File Folder (ファイルフォルダー)** タブを開きます。**Plug-In Sources (プラグインソース)** で **Browse (参照)** をクリックし、上記リストを参照し適切なプラグインフォルダを選択します。
3. プラグインフォルダを選択すると、**Use VST Custom Plug-In Folder** ボタンが **ON** になります。**ON** にならなかった場合はボタンを押して **ON** にし、**Preferences (設定)** メニューを閉じます。

Ableton Live のセットアップ

1. Hammer 88 Pro をコンピュータに接続し、Ableton Live Lite を立ち上げます。
2. Ableton Live Lite の **Preferences (設定) ウィンドウ**を開きます。Mac をご使用の場合は、**Live > Preferences** の順にメニューを開きます。PC をご使用の場合は、**Options > Preferences** の順にメニューを開きます。
3. 左側の **Link/MIDI** タブを選択します。**MIDI Ports (MIDI ポート)** のセクションで、以下の設定を行います。

Control Surfaces の **Input (入力)** と **Output (出力)** のセクションで **Hammer 88 Pro (Port 3)**を選択します。

Input: Hammer 88 Pro (Port 1)の横にある **Track 列**と **Remote 列**で **ON** を選択します。

Output: Hammer 88 Pro (Port 1)の横にある **Track 列**で **ON** を選択します。

Input: Hammer 88 Pro (Port 3)の横にある **Track 列**と **Remote 列**で **ON** を選択します。

Output: Hammer 88 Pro (Port 3)の横にある **Track 列**と **Remote 列**で **ON** を選択します。

4. **Preferences (設定)** メニューを閉じます。

- Hammer 88 Pro でトリガーするインストゥルメントまたはプラグインを追加するには、**Categories** 列で **Instruments** が **Plug-ins** を選択します。
- Categories (カテゴリー)** 列の右側にある **Name** 列で、ご使用になるインストゥルメントまたはプラグインを選択し、Ableton Live Lite の MIDIトラックにクリック&ドラッグしてロードします。
この設定により、インストゥルメントをトリガーできるようになります。

MPC Beats のセットアップ

- Keystation Mini 32 MK3 を付属USBケーブルでコンピューターと接続します。USBハブをご使用の場合は、電源付のパワーハブをご使用ください。
- MPC Beats を起動し、MPC Beats の Preferences > MIDI/ Sync で、MIDI 入力デバイスとして "Keystation Mini 32 MK3" を選択します (USB Device または USB PnP Audio Device として表示される場合もあります) デバイス名の横にあるTrackボタンをクリックしてMIDI入力を有効にします。
- MPC Beatsで選択したインストゥルメントは、Keystation Mini 32 MK3の鍵盤で演奏することができ、コンピューターに接続したヘッドホンやスピーカーから演奏が聞こえるようになります。

Preset Editor (プリセットエディター)

付属のPreset Editorソフトウェアをダウンロードするには、同梱のソフトウェア・ダウンロードカードの指示に従ってください。このソフトウェアを使用すれば、Hammer 88 ProにロードするカスタムMIDIマッピングを作成できます。カスタムプリセットの1つを選択してキーボードを操作する方法の詳細については、次の章をご参照ください。また、プリセットエディターには、専用のエディター・ユーザーガイドも付属されています。

オペレーションモードの設定

Hammer 88 Pro が DAW で動作するように設定したら、キーボードのオペレーション (操作) モードを設定します。オペレーションモードを選択することで、DAW の機能と自動的に連携するようにキーボードを設定したり、コントローラーとしての機能/設定をカスタマイズすることができます。この 2 つのモードにより、プラグインの制御と DAW の制御がボタン操作だけですばやく切り替え可能になります。

編集可能な MIDI キーボードのコントロール機能は、次の内 2 つから選択可能です。

- DAW** : DAW モードでは、キーボードのコントロールは DAW のスライダー、ボタン、ノブ、パッドに自動的にマッピングされます
- Preset** : プリセットモードでは、キーボードの編集可能なコントロールを、自分で設定できます。多数のプリセットマッピングを個別に作成し、後でロードできるようにキーボードの内部メモリにセーブできます。

DAW モードでキーボード操作を設定するには、DAW ボタンを押します。 DAW モードが選択されるとボタンが点灯します。

DAW モードでキーボード操作を設定するには :

- DAW ボタン** を長押しし、**ディスプレイ** で DAW 選択メニューを開きます。
- Scroll/Select エンコーダーノブ** を回し、ディスプレイ上で利用可能な DAW を選択します。
エンコーダーノブを回すと、現在選択されている DAW が **ディスプレイ** 上で更新できます。
User オプションを使用すれば、カスタム DAW コントロールをキーボードにマッピングすることができます。
- 設定する DAW がディスプレイに表示されたら、**Scroll/Select エンコーダーノブ** を押して設定内容を決定します。

注意 : 設定を何も変更せずに DAW モードを終了する場合は、**Back ボタン** を押します。

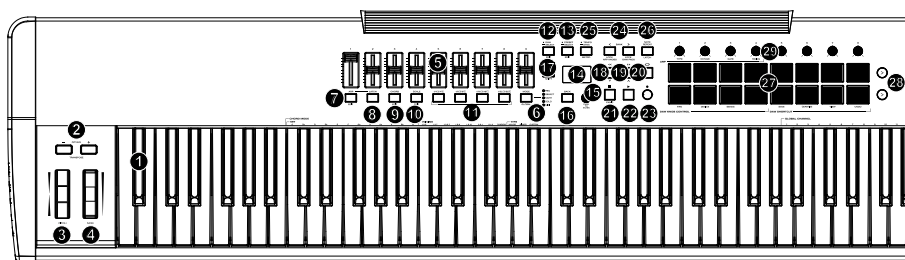
Preset (プリセット) モードでキーボードを操作する設定をするには、Preset ボタンを押します。
Preset モードが選択されるとボタンが点灯します。

設定されているプリセットを変更するには：

1. **Preset ボタン**を長押しし、**ディスプレイ**でPreset 選択メニューを開きます。
2. **Scroll/Select エンコーダーノブ**を回し、ディスプレイ上で利用可能なPreset を選択します。エンコーダーノブを回すと、現在選択されているPreset が**ディスプレイ**上で更新できます。
3. 設定するPreset が**ディスプレイ**に表示されたら、**Scroll/Select エンコーダーノブ**を押して設定内容を決めます。

機能

トップパネル



キーボード/OCTAVE ボタン/ホイール

注意： ボタンの下に表記されている機能名は、キーボードコントロールのサブ機能です。サブ機能は、コントロール中に **SHIFT ボタン**を押しながらボタンを押して使用します。

1. **キーボード：**ペロシティ対応のキーボードで、MIDIノート情報を送出します。

Chord Mode (コードモード)： **SHIFT**ボタンを押しながら**C2~Bb3**キーのどれかを押すと、コードモード設定が編集できます。

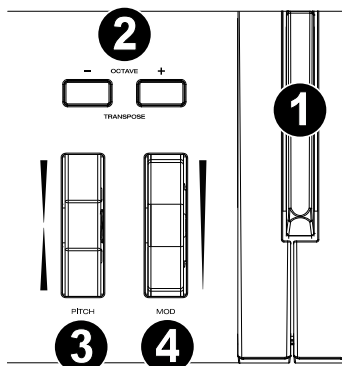
2. **OCTAVEボタン (- / +)：**これらのボタンを使って、キーボードのレンジを上下にシフトします。

TRANSPOSE (トランスポーズ)： **SHIFT**ボタンを押しながら**OCTAVE**ボタンを押すと、レンジを半音ずつ上下どちらかに移動できます。

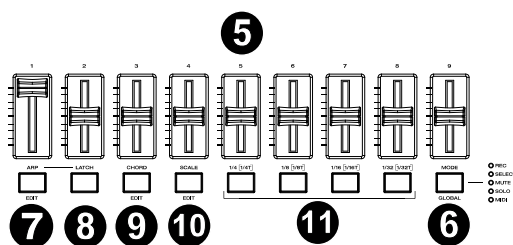
デフォルトのオクターブから上に4オクターブ/下3オクターブまで、1オクターブ (12半音) ずつ移動が可能です。

キーボードのレンジをデフォルトの位置 (キーボードでは**C2~C7**の位置) に戻すには、**Octave (-) ボタン**と**Octave(+)ボタン**を同時に押します。

3. **ピッチベンド・ホイール：**このホイールを操作すれば、演奏中にピッチを上下させることができます。ピッチベンドのレンジはご使用のソフトウェアシンセにより異なります。ピッチベンド・ホイールはスプリング式で、指を離すと通常の位置・音程に戻ります。
4. **モジュレーション・ホイール：**このホイールを動かして、連続コントローラーデータ (デフォルトではMIDI CC #01 (モジュレーション)) を送信します。



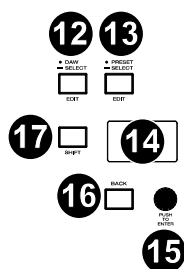
スライダー/ボタン



5. **スライダー (1~9)** : スライダーを上下に動かすと、割り当てたコントロールを操作できます。
6. **MODE ボタン** : MODE ボタンを押すと、スライダーボタンのサブ機能の一つを有効にできます。
グローバルメニュー : SHIFT ボタンを押しながら MODE ボタンを押すと、キーボードのグローバルメニューにアクセスできます。
7. **ARP (アルペジエーター) ボタン** : このボタンを押すと、アルペジエーターが有効になります。
SHIFTボタンを長押ししながらこのボタンを押すと、アルペジエーターの設定を編集できます。
8. **LATCHボタン** : このボタンを押すと、アルペジエーターのMOMENTARY (トリガー) モードとLATCH (固定) モードを切り替えることができます。
9. **CHORDボタン** : このボタンを押すと、コードモードが有効になります。
SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、コードモードの設定を編集できます。
10. **SCALEボタン** : このボタンを押すと、スケールモードが有効になります。
SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、スケールモードの設定を編集できます。
11. **1/4~1/32T (TIME DIVISIONボタン)** : これらのボタンを使用し、ノートリピートおよびアルペジエーター機能のキーボードのタイムディビジョン設定を選択します。

ボタン (キーボード中央)

12. ● **DAW ボタン** : Hammer 88 Pro を DAW モードで操作するには このボタンを押します。
DAW選択 : 長押しすると、DAW選択メニューがディスプレイに表示されます。
編集 : SHIFTボタンを押しながらDAWボタンを押すと、ユーザーDAWプリセットの新規作成および編集が可能です。編集が完了し、再度DAWボタンを押すと、ユーザーDAWプリセットへの変更点がセーブされます。
13. ● **PRESETボタン** : Hammer 88 Pro をPRESETモードで操作するには このボタンを押します。
プリセット選択 : 長押しすると、PRESET選択メニューがディスプレイに表示されます。



- 編集** : SHIFTボタンを押しながらPRESETボタンを押すと、プリセットの編集が可能です。編集が完了し、再度PRESETボタンを押すと、プリセットへの変更点がセーブされます。
14. **ディスプレイ** : ディスプレイ画面には最新の操作内容が表示されます。
15. **Select/Scroll Encoderエンコーダーノブ** : ディスプレイで編集メニューを使用する際、このノブを回して設定/パラメーターを調整します。ノブを押すと、設定内容を決定します。

16. **BACKボタン**：ディスプレイで編集メニューを使用する際、このボタンを押すとメインディスプレイ画面に戻ります。

DELETE：SHIFTボタンを押しながらBACKボタンを押すと、名前の編集に文字を削除する音ができます。

17. **SHIFTボタン**：SHIFTボタンを長押ししながらコントロール機能やキーボードのボタンを押すと、各機能のサブ機能にアクセスできます。

18. (**<</V**) ボタン：DAW上で選択している画面により、開いているソングの「巻き戻しボタン」として機能するか開いているウィンドウで「下に移動するボタン」として機能します。

19. (**>>/^**) ボタン：DAW上で選択している画面により、開いているソングの「早送りボタン」として機能するか開いているウィンドウで「上に移動するボタン」として機能します。

20. **LOOPボタン**：このボタンを押して、DAW上でのループ機能のON/OFFを切り替えます。

21. **STOPボタン**：このボタンを押すと、DAWで開いているソングが停止します。

ダブルクリックすると開いている曲が停止し、再生ヘッドがソングの最初に戻ります。

MIDIリセット：SHIFTキーとこのボタンを押すと、MIDIリセットメッセージが送信され、すべてのノートメッセージがオフになり、すべてのコントロールがゼロに戻ります。

22. **PLAYボタン**：このボタンを押すと、DAWでソングが再生します。

23. **RECORDボタン**：このボタンを押すと、DAWでレコーディングが可能になります。

24. (**</>**) **BANKボタン**：DAWモードまたはカスタムプリセットの1つを操作している場合、これらのボタンを使用すると、**スライダ、ノブ、パッド、スライダーボタンのバンク**を切り替えることができます。

各コントロールには4つのバンクがあるので、合計36個のスライダー、32個のノブ、64つのパッドが操作可能となっています。

SHIFTボタンとBANK <ボタンを押すと、SHIFTキーを押しながら使用する**ARP (アルペジエーター)** ノブコントロール機能が固定されます。この機能は、ライブパフォーマンス中にアルペジエーターのパラメータを操作する際に役立ちます。

SHIFTボタンとBANK >ボタンを押すと、SHIFTボタンを押しながら使用する**パッドコントロール機能**が固定されます。この機能は、曲のミックス中に編集をする際に役立ちます。

ARPノブやパッドを元の機能に戻すには、再度**SHIFTボタン**と、**BANK <ボタン/BANK >ボタンのいずれか**を押します。

25. **TEMPO: Tap**：このボタンを押すとHammer 88 Proのテンポを設定できます。

長押しして**ディスプレイ**のテンポ編集メニューを開き、**Select/Scrollエンコーダーノブ**を使用して手動でテンポを入力し、Hammer 88 ProのテンポをDAWと同期することもできます。

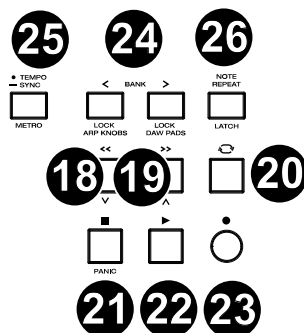
テンポの設定はアルペジエーター/ノートリピート機能にも影響します。

メトロノーム：SHIFTボタンを長押ししながらTEMPOボタンを押すと、DAWのメトロノームのON/OFFを切り替えることができます。

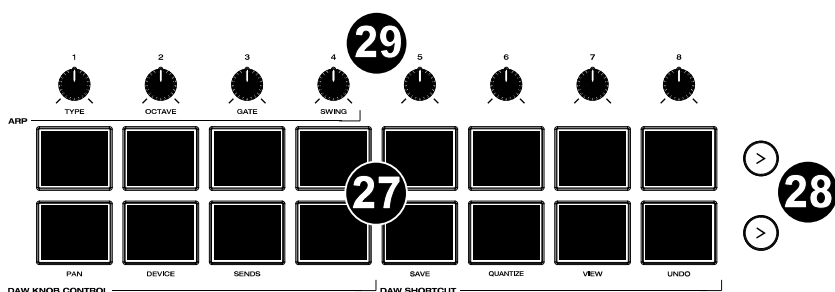
26. **NOTE REPEAT (ノートリピート) ボタン**：このボタンを押すと**パッドのノートリピート機能**が有効になります。

ノートリピート機能を**LATCH (固定) /固定解除**するには、**SHIFTボタン**を押しながら**ノートリピートボタン**を押します。

ノートリピート機能がONになっている状態で**Select/Scrollエンコーダーノブ**を使用すれば、**アルペジエーター**や**ノートリピート**での**Time Division**設定を調節することができます。



パッド/ノブ



27. **パッド (1～16)** : プリセットまたはユーザーDAWを使用している際、パッドを使用すれば、MIDIノートON/OFFメッセージの送信や、その他、アサインされたMIDIコントロールを実行したりできます。

パッド (9～11) : SHIFTボタンを押しながらパッド9～11を押すと、ノブの機能の再割り当てができます。

パッド (13～16) : SHIFTボタンを押しながらパッド13～16を押すと、DAWショートカットを使用できます。

28. **PAD ROW PLAY** : このボタンを押すと、対応するパッド列の各パッドに割り当てられているオーディオクリップが再生されます。

これらのボタンの機能は、ご使用のDAWにより異なります。

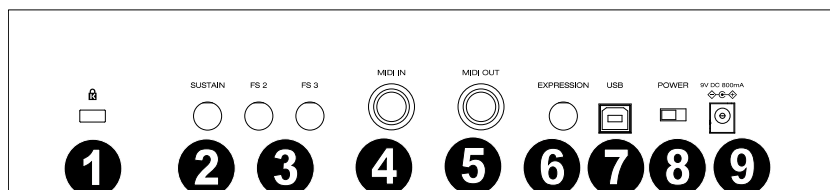
29. **ノブ (1～8)** : ノブを左右に回すと、割り当てたコントロールを操作できます。

DAWで操作する場合、割り当てられるコントロールは事前に決定されます。

プリセットまたはユーザーDAWを選択して操作する場合、割り当てるコントロールを編集できます。

SHIFTボタンを長押ししながらノブ1～4を押すと、アルペジエーターの設定を編集することができます。

リアパネル



1. **Kensington® ロック・スロット** : 盗難防止用の標準的なラップトップスタイルのケンジントンセキュリティケーブルを接続できます。
2. **サステインペダル接続端子** : サステインペダル (別売) の接続する入力端子です。デフォルト設定の状態ではキーを演奏しペダルを踏むと、キーから指を離している間もサステイン効果を得られます。サステインペダルの入力をリマッピングしてカスタムアサインすることも可能です。

注意：サステインペダルを踏みながら Hammer 88 Pro の電源を入れないでください。サステインペダルは Hammer 88 Pro 起動時に OFF の状態だと自動的に認識されるため、踏みながら電源を入れると、挙動が正反対（踏んでいない状態でサステイン効果がかかり、踏むと OFF になる）になってしまいます。

3. **FS 2/FS 3接続端子：**1/4インチTRSソフトペダル（別売）を接続する入力端子です。
M-Audio SP-2などのソフトペダルを使用すれば、打弦距離が短くなり、音がソフトになります。
ソフトペダルの入力、CCメッセージに割り当てることができます。
4. **MIDI入力：**標準の5ピンDIN MIDIケーブル（別売）を使用して、このポートをハードウェアシンセまたは他のMIDIデバイスに接続します。
5. **MIDI出力：**標準の5ピンDIN MIDIケーブル（別売）を使用して、このポートをサウンドモジュール、ハードウェアシーケンサーまたは他のMIDIデバイスに接続します。
6. **エクスプレッションペダル端子：**1/4インチTRSエクスプレッションペダル（別売）を接続する入力端子です。M-Audio EX-Pなどのエクスプレッションペダルを使用すれば、ボリュームビブラート、または楽器パッチのリバープのDepth（深さ）をコントロールすることができます。
M-Audio EX-Pエクスプレッションペダルはペダルアップ（ペダルを踏んで操作する）に設定されています。エクスプレッションペダルの入力、CCメッセージに割り当てることができます。
7. **USBポート：**コンピュータに接続し、キーボードへの電源供給とMIDIデータの送受信を行います。
8. **POWERスイッチ：**Hammer 88 Proの電源のON/OFFを切り替えます。
9. **ⓈⓈⓈ DC電源アダプター入力：**Hammer 88 Pro は、USBバスパワーまたはACアダプター（別売）で電源供給されます。

Hammer 88 Proをコンピュータに接続せずに、スタンドアローンモードで使用する場合（外部シンセサイザーをコントロールする際など）には、この入力端子にACアダプター（別売）を接続してください。

お使いのコンピュータとHammer 88 Proを接続し、ソフトウェアシンセのトリガーを行う場合は、付属のUSBケーブルをご使用ください。この場合、電源はUSBケーブルから供給されます。

オペレーション（操作）

ディスプレイの概要

メインディスプレイ画面

演奏中にキーボードの**スライダー**、**ノブ**、**パッド**、**スライダーボタン**を使用すると、最後に使用されたコントロールの現在のバンク、コントロールの名前/番号、コントロールによって適用された現在の値（00～127以内に該当する場合）、およびレベルを示すグラフィカルメーター

（該当する場合）がディスプレイに表示されます。演奏中、**ディスプレイ**は図のように黒を主体としたモノクロ表示となります。



注意：ディスプレイにはソフトウェアコントロールの値が表示されますが、キーボードのハードウェアコントロールの値と常に一致するとは限りません。たとえば、キーボードがバンク 3 に設定されている場合、キーボードのノブ 1 を回すと、ディスプレイには**ノブ 20**が表示されます。これは、キーボードがバンク 3 に設定されている場合、**ハードウェアノブ 1**が**ソフトウェアノブ 20**をコントロールしているということです。

スライダーとノブにはソフトテイクオーバーが適応されます。バンクを切り替え、割り当てられたコントロールを引き継ぐ前にスライダーまたはノブを操作する必要がある場合、ディスプレイのコントロールレベルの下には灰色のメーターが表示されます。右の図はバンク1がバンク2に切り替わったところです。

この状態でソフトウェアスライダー10の操作を始めるには、まずスライダー1の元の値まで物理スライダーを押し上げる必要があります。



編集メニュー

ディスプレイは、キーボードの様々な設定をするメインツールです。Scroll/Select エンコーダーノブを使用し、MIDI 割り当て、キーボードの内部機能の設定（アルペジエーターなど）、グローバルハードウェアセッティングなどを設定できます。

キーボード機能の編集メニューを開くと、ディスプレイには編集メニューの名前、編集用にハイライトされた設定フィールド、設定の現在のステータスを示すパラメーターフィールド、編集メニューで使用できる設定の残数を示すブロック（画面下部）が表示されます。

編集メニューを開くと、ディスプレイは図のように白を主体としたモノクロ表示になります。



編集メニュー内でスクロールするには、編集する設定フィールドがハイライトされている間に Scroll/Select エンコーダーノブを回します。

編集設定を選択するには、設定フィールドがハイライトされている間に Scroll/Select エンコーダーノブを押します。パラメーターフィールドがハイライトされます。

パラメーター設定を編集するには、上記の手順でパラメーターフィールドがハイライトさせ、Scroll/Select エンコーダーノブを回してパラメーターの値を調整します。設定が終わったら Scroll/Select エンコーダーノブを押し、設定内容を決定します。ディスプレイは、設定フィールドがハイライトされている状態に戻ります。

編集事項をセーブせずに編集メニューを閉じるには、BACK ボタンを押します。

編集事項をセーブして編集メニューを閉じるには、ユーザーDAW 編集時は DAW ボタン、Preset 編集時は PRESET ボタンを押します。

注意：編集メニューで編集できる設定内容は、選択したパラメーターによって異なります。たとえば、アルペジエーターの編集メニューの設定内容は、アルペジエーターの Type 設定で選択したパラメーターによって異なります。

付録

プリセットリスト

1. MPC PI (MPC Plugin)	9. Preset
2. Hybrid (Hybrid 3)	10. Preset
3. MiniGrd (MiniGrand)	11. Preset
4. Velvet	12. Preset
5. Xpand (Xpand!2)	13. Preset
6. Vacuum	14. Preset
7. Boom	15. Preset
8. DB33	16. Preset

DAW リスト

1. Pro Tools	7. Logic
2. MPC (MPC Beats)	8. Bitwig
3. Ableton (Ableton Live)	9. Garage (Garage Band)
4. Studio One	10. Reaper
5. Reason	11. FL St. (FL Studio)
6. Cubase	12. User DAW

技術仕様

電源	9V DC, 800 mA
サイズ (W x D x H)	142.2 x 28.2 x 12.7 cm
重量	約 18.5 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

M-Audio は inMusic Brands, Inc.,の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Ableton は Ableton AG の登録商標です。

Apple Store、macOS、Macintosh および iPad は、米国およびその他の国々において Apple Inc., の登録商標です。

Windows は、米国およびその他の国々において Microsoft Corporation の登録商標です。

Kensington は ACCO Brands の登録商標です。

その他すべての会社名または製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

m-audio.com